



1. 指導日時 2013年11月12日 第6時限（14：35～15：25）

2. 指導学級



3. 単元名 Unit6-2 “Break the Barrier” (P63) – NEW HORIZON English course 3

4. 単元目標

- 関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話ができる。
- 偉大な業績を残した人たちに興味・関心を持つとともに、人物事典を読んで、その内容を理解できる。
- 教科書のモデルを参考にして、自分の好きな人物をまとまりのある英語で表現することができる。

5. 生徒観

本クラスは、元気で明るく、積極的に授業に参加し、発言も多い学級である。コミュニケーションに対する意欲も強いので、毎回の授業でコミュニケーション活動を授業に取り入れるように心がけている。一方、一度騒がしくなると、気持ちの切り替えが難しい課題がある。生徒が集中をきらすことなくコミュニケーション活動ができるように、場の設定を工夫するなどして、生徒の英語の活用能力向上につなげていきたい。

6. 指導観

第1時、第2時では「書くこと」、第3時、第4時では「読むこと」に重点を置いて学習をしてきた。本時では、「話すこと」に重点を置いて音読活動を行う。お互いの発表を聞き、「聞く」力も向上していきたい。 Skitを通して、英語らしく発音することを意識させ、自然な会話ができるよう指導していく。

7. 評価基準

A コミュニケーションへの関心・意欲・態度	B 外国語表現の能力	C 外国語理解の能力	D 言語や文化についての知識・理解
<聞くこと> ①クラスメイトの話しを積極的に聞こうとしている。 <話すこと> ②積極的に、英語で話しを続けようとしている。 <読むこと> ③ペアワークにおいて必要に応じて協力し合う。	<話すこと> ①自分の考えや気持ちを英語で正しく話すことができる。 <読むこと> ②場面や状況に応じた読み方をすることができる。 <書くこと> ③関係代名詞を用いた文を正しく使うことが	<聞くこと> ①まとまりのある英語を聞いて概要や要点を適切に聞き取ることができる。 <話すこと> ②英語で書かれた内容を正しく読み取ることができる。	①関係代名詞の意味、用法を適切に理解している。 ②伝達の情報を読んで背景にある文化について理解することができる。

<p><書くこと> ④関係代名詞を用いて、積極的に【書くこと】への言語活動に取り組んでいる。</p>	<p>できる。 ④自分の気持ちや考えが正しく伝わるように文と文のつながりなど注意して文章を書くことができる。</p>		
--	--	--	--

8. 単元の指導計画

時	内容	主な評価基準
第1時	接触節の形・意味・用法を理解し、表現する。	A-②③④【関心・意欲・態度】 B-④【表現の能力】
第2時	関係代名詞 that(which) (主格) を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現する。	A-③④【関心・意欲・態度】 B-③【表現の能力】 D-①【知識・理解】
第3時	関係代名詞 who を用いた文の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話や表現活動をおこなう。	A-③④【関心・意欲・態度】 B-①②④【表現の能力】 D-①【知識・理解】
第4時	接触節や関係代名詞を用いた文を正しく作ったり、文の構造を理解する。	A-①③④【関心・意欲・態度】 B-④【表現の能力】 D-①【知識・理解】
第5時	Unit6-1 偉大な業績を残した人たちに興味・関心を持つ。 ロビンソンの業績について知り、理解を深める。	C-①②【理解の能力】 D-②【知識・理解】
第6時	Unit6-2 教科書のモデル文を参考にして、自分の好きな人物をまとまりのある英文で書いたり話したりする。	A-①③④【関心・意欲・態度】 B-①②④【表現の能力】
第7時 (本時)	Unit6-2 書いた原稿をもとに、自分の好きな人物について対話形式で表現する。 友だちの対話を聞き、その内容について理解する。	A-①②③④【関心・意欲・態度】 B-①②④【表現の能力】 C-①②【理解の能力】
第8時	Unit6-3 本文を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを読み取ることができる。	A-①②【関心・意欲・態度】 D-②【知識。理解】
第9時	Unit6-4 空欄に適切な語句を補充して、ジャッキーロビンソンの生涯についてのレポートを完成させる。また彼の生き方などについて、自分の考えやコメントを書く。	A-①②【関心・意欲・態度】 D-②【知識。理解】

9. 本時の目標

○関係代名詞を使って、自分の好きな人を紹介できるようになる。

10. 本時の展開

	時間	学習項目の生徒の活動	教師の活動	評価
つかむ	10分	あいさつ チャット ・会話での応答の仕方について考えペアで確認する。 ・ペアで2分間、英語で会話をする	・質問に対する応答の仕方の復習をする。 ・さまざまな工夫をして、話しを続けようとしているか確認する。 ・英語を使う雰囲気を教室に作る。	A-①②
見通す	10分	学習課題「自分の好きな人を英語で紹介できるようになろう！」を示す ・ALT とスキットの見本を見る ・会話で相手に英語で伝える際のポイントを考えさせる。 ・評価シートをもとに、英語で会話するときのポイントを説明する。 ・前時に作った英文をもとに自分たちの好きな人をペアで紹介できるように練習する。	・モデルスキットを通して、相手に正しく英語を伝えるためのポイントを知ってもらう。 ・前時に作った英文を見直し、その内容が相手に伝わるようにペア学習を支援する。	C-① B-①②
練り上げる	25分	グループで発表 ・4つのグループに分かれて、ペアごとにグループ内で自分たちの好きな人を対話形式で発表する。 ・各班の MVP を選ぶ。(4ペア) 全体で発表する。 ・代表の4ペアが全体の場で発表する。 ・ALT に代表が好きな人を紹介する。	・机の移動がスムーズにいくように指示する。 ・発表の際には、聞いている側も評価シートを使って、積極的に且つ適切に聞きとれているかを確認する。 ・今回の表現活動が将来、どのような形で生きてくるのかを伝える。	A-①② B-①②③ C-①
まとめる	5分	ワークシートを記入する ・他のペアの発表で聞き取れた人物について、英文を作る 振り返りの欄を記入する あいさつ	・振り返りでは本時で「できたこと、わかったこと」が書けるようにする	B-③